

調查票

各位

北九州市保健福祉局長 工藤 一成

北九州市高齢者等実態調査への協力について(お願い)

日ごろから北九州市の保健福祉行政にご理解をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、北九州市では、高齢者等の保健福祉に関する意識やニーズを把握するため、
標記の調査を実施することといたしました。この調査は、高齢者をはじめとした市民の
皆様が、住み慣れた地域や家庭で安心して暮らしていけるよう、今後の高齢者福祉施策
の推進に役立てるためのものです。

つきましては、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理
解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

- * **5ページ以降の調査項目に直接ご記入後、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに平成28年11月25日(金)までにご返送**いただきますよう、お願い申し上げます。
- * 調査の対象となられた方は、平成28年9月1日現在、北九州市内にお住まいで介護保険の要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方から、無作為に抽出させていただきます。
- * お答えいただいた内容につきましては、調査結果の統計の目的以外に使用することは一切ございません。

- ◇同封の書類
- ・調査票（一般高齢者用） 1部
 - ・返信用封筒 1枚

《この調査に関するお問合せ先》

株式会社北九州経済研究所

〒802-0084 北九州市小倉北区香春口二丁目8番8号 電話番号:932-6577

北九州市保健福祉局長寿社会対策課（高齢者等実態調査担当）

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 電話番号:582-2407

北九州市高齢者等実態調査

〈平成28年10月調査〉

一般高齢者用

*この調査票は、65歳以上(平成28年9月1日現在)の方を対象としています。

*調査票の記入にあたって

①記入にあたっては、黒又は青のインクのペン又はボールペンを使用してください。

②各設問の当てはまる番号に、○をつけてください。

以下の内容については、調査対象者ご本人がお答えください。なお、ご記入は、ご家族の方等でもかまいません。

【基本属性】

問1 あなたの性別はどちらですか。

いずれか一つに○。

1 男

2 女

問2 あなたの年齢はどちらにあたりますか。

いずれか一つに○。

1 65～69歳

2 70歳～74歳

3 75～79歳

4 80歳～84歳

5 85～89歳

6 90歳～94歳

7 95～99歳

8 100歳以上

問3 あなたのお住まいの区はどちらですか。

いずれか一つに○。

1 門司区

2 小倉北区

3 小倉南区

4 若松区

5 八幡東区

6 八幡西区

7 戸畑区

問4 あなたは現在、どなたと一緒に暮らしていますか。養子の方も含めてお答えください。

あてはまるものすべてに○。

1 配偶者(あるいはパートナー)

2 親(配偶者の親を含む。)

3 子(子の配偶者を含む。)

4 孫(孫の配偶者を含む。)

5 その他(親族以外も含む。)

6 同居者はいない

問5 現在お住まいの住居の種類はどちらに該当しますか。

また、次の選択肢のうち、3と答えた場合は、市営住宅などの公営住宅か、民間の住宅かについてもお答えください。

※持ち家は家族名義分も含みます。

いずれか一つに○。

1 一戸建て(借家)

2 一戸建て(持ち家)

3 アパート、マンション等の共同住宅(借家) → { 1 市営住宅などの公営住宅
2 民間の住宅

4 アパート、マンション等の共同住宅(持ち家)

5 その他()

いずれか一つに○。

【健康・医療】

問6 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

いずれか一つに○。

1 よい

2 まあよい

3 普通

4 あまりよくない⇒副問1へ

5 よくない⇒副問1へ

副問1 【問6で「4 あまりよくない」「5 よくない」と答えた方のみにおたずねします】どのような症状がありますか。

あてはまるものすべてに○。

1 生活習慣病などの慢性疾患や不調

2 腰痛や関節痛などの整形外科系の疾患や不調

3 うつや原因不明の心身の不調などの精神科系の疾患や不調

4 歯や歯ぐきなどの歯周疾患や不調

5 目の疾患や不調

6 耳の疾患や不調

7 その他()

問7 「かかりつけ医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

1 決めている

2 決めていない⇒**副問1**

副問1 【問7で「2 決めていない」と答えた方のみにおたずねします】

「かかりつけ医」がない理由は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 「かかりつけ医」になってくれそうな医師がないから
- 2 「かかりつけ医」の意味や制度を知らないから
- 3 複数の診療科を持つ医療機関にかかっているので必要ないから
- 4 病状以外のことを医師(他人)に知られたくないから
- 5 必要と思わないから
- 6 その他()

問8 「かかりつけ歯科医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

1 決めている⇒**副問1**へ

2 決めていない

副問1 【問8で「1 決めている」と答えた方のみにおたずねします】

どんなときに「かかりつけ歯科医」を利用しますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 むし歯や歯周病、入れ歯等の治療を受けるとき
- 2 歯石除去や歯のクリーニングを受けるとき
- 3 定期的なチェックや健診を受けるとき
- 4 お口の働き(食べ物を噛む、飲み込む等)について相談するとき
- 5 訪問による歯科診療(往診)を受けるとき
- 6 その他()

問9 仮に、あなたが末期がんや進行性の疾患など治る見込みがない病気と診断され、余命6か月(もしくはそれより短い期間)と告げられたとした場合、どこで治療することを希望されますか。

いずれか一つに○。

- 1 最期まで自宅で療養したい
- 2 できるだけ自宅で過ごして、最期は医療機関に入院したい
- 3 なるべく早く医療機関に入院したい
- 4 老人ホームなど介護施設で療養したい
- 5 その他()

} **副問1**へ

副問1 【問9で「2、3、4」と答えた方のみにおたずねします】

「自宅」以外を選択した理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 自宅では家族に介護の負担がかかると思うから
- 2 自宅では必要な医療や介護が受けられないから
- 3 自宅で最期を迎えることができるという想像ができない(イメージがわからない)から
- 4 自宅で療養すると、費用がかかると思うから
- 5 病院等の専門機関で治療を受けたいから
- 6 その他()

【介護予防】

問10 「介護予防」という言葉やその意味・意義を知っていますか。

いずれか一つに○。

- 1 意味や意義を理解している
- 2 意味を十分に理解しているわけではないが、「介護予防」という言葉を聞いたことはある
- 3 聞いたこともないし、意味も分からない

☆「介護予防」とは☆

いつまでもいきいきと自分らしい生活を送ることができるように、健康づくりや生活習慣の改善に取り組むことによって、介護が必要な状態になることを防いだり、もし介護が必要になっても状態がそれ以上悪化しないようにしていくことです。

問11 健康づくりや、介護が必要な状態になることを防ぐ(介護予防)ために、日ごろから取り組んでいることはありますか。

いずれか一つに○。

1 ある ⇒副問1へ

2 特にない ⇒副問2へ

副問1 【問11で「1 ある」と答えた方のみにおたずねします】

健康づくりや、介護が必要な状態になることを防ぐ(介護予防)ために、日ごろから取り組んでいることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1 休養や睡眠を十分にとる | 2 規則正しい生活を送る |
| 3 栄養バランスの取れた食事をとる | 4 定期的に健康診断を受ける |
| 5 酒やたばこを控える | 6 散歩や体操など定期的な運動を続ける |
| 7 口や歯の手入れをこまめに行う | 8 よく噛んで食べる |
| 9 できるだけ外出をする | |
| 10 気持ちをなるべく明るくもつ | |
| 11 ボランティアなどの社会活動に積極的に参加する | |
| 12 その他() | |

副問2 【問11で「2 特にない」と答えた方のみにおたずねします】

それはなぜですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 興味・関心がない | 2 体力や気力がない |
| 3 どのようなことに取り組んでよいかわからない | 4 時間的な余裕がない |
| 5 金銭的な余裕がない | |
| 6 その他() | |

【生きがい・社会参加】

問12 この一年間に自治会やまちづくり協議会、老人クラブなどの地域活動に参加しましたか。

いずれか一つに○。

1 参加した

2 参加していない

問13 現在、興味・関心があること、あるいは今後取り組んでみたいことはどのようなものですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 新たな資格や技術を身につけること
- 2 地域活動やボランティア活動等を通して社会貢献をすること
- 3 スポーツや体操、運動などをすること
- 4 芸術・文化活動などをすること
- 5 その他()
- 6 特に興味・関心のあることはない

問14 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 選択肢からあてはまるものを選び、表の回答欄に番号を記入してください。

以下の表について、あてはまる番号を記入してください

<ol style="list-style-type: none"> 1 週4回以上 2 週2～3回 3 週1回 4 月1～3回 5 年に数回 6 参加していない 	
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

(回答表)

活動主体	回答記入欄
(例)自治会・町内会	1
自治会・町内会・老人クラブ 婦人会など地域の会合	
ボランティアのグループ	
趣味や運動のグループ	

問15 現在、市内では多くの高齢者が、様々な活動の担い手として活躍されています。
 今後ますます高齢化が進む中、社会貢献についてどのように考えますか。

いずれか一つに○。

- 1 積極的に社会貢献したい
- 2 自分のできる範囲で社会貢献したい
- 3 高齢者に負担をもとめるべきではない
- 4 わからない
- 5 その他()

【就労について】

問16 あなたの就労状況について、あてはまるものに○をしてください。

いずれか一つに○。

- 1 働いている⇒副問1・2・3・4
- 2 以前は働いていたが、現在は働いていない⇒問17
- 3 働いたことがない⇒問17

副問1 【問16で「1 働いている」と答えた方におたずねします】

今のお仕事の就労形態はどれですか。

いずれか一つに○。

- 1 自営事業主・個人事業主・フリーランス(家族従業者を含む。)
- 2 正規の社員・職員
- 3 パート・アルバイト
- 4 会社または団体の役員
- 5 家庭内の賃仕事(内職)
- 6 ボランティアを兼ねた就労(シルバー人材等)
- 7 その他()

副問2 【問16で「1 働いている」と答えた方におたずねします】

あなたはいくつまで働きたいですか。

いずれか一つに○。

- 1 70歳まで
- 2 75歳まで
- 3 80歳まで
- 4 働ける限りいつまでも

副問3 【問16で「1 働いている」と答えた方におたずねします】

あなたが働く目的を教えてください。

あてはまるものすべてに○。

- 1 働かないと生活ができないから
- 2 生活にゆとりが欲しいから
- 3 社会とのつながりを保つため
- 4 心身の健康維持のため
- 5 仕事にやりがいを感じているため

副問4 【問16で「1 働いている」と答えた方におたずねします】

今の仕事内容に満足していますか。

いずれか一つに○。

- 1 大変満足
- 2 どちらかといえば満足
- 3 どちらかといえば不満⇒**副々問1**
- 4 大変不満⇒**副々問1**

副々問1 【**副問4**で「3 どちらかといえば不満」「4 大変不満」と答えた方におたずねします】不満である理由は何ですか。

いずれかひとつに○。

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1 やりがいが無い | 2 仕事の内容が自分にあってない |
| 3 賃金が低い | 4 勤務時間等労働条件の柔軟性がない |
| 5 その他() | |

【地域との関わり・支援の状況】

問17 介護や病気などで困ったときに、相談できる人はどんな方ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 家族や友人・知人
- 2 ケアマネジャーなどの介護関係者やかかりつけ医などの医療関係者
- 3 区役所や地域包括支援センターなどの行政関係者
- 4 民生委員・児童委員や福祉協力員などの地域の役員
- 5 その他()
- 6 相談できる人はいない

問18 ふだん、近所で親しく付き合っている人はいますか。

いずれか一つに○。

- 1 何か困ったときに助け合える親しい人がいる
- 2 お互い訪問し合う程度の人がある
- 3 立ち話をする程度の人がある
- 4 あいさつをかわす程度の人がある
- 5 ほとんど付き合いはない
- 6 その他()

【認知症】

問19 「認知症」と聞いて、不安に感じることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 「もの忘れ」と「認知症」の違いがわからない
- 2 どこに相談に行ったらよいかわからない
- 3 どのような生活を心がけていれば、予防できるのかわからない
- 4 家族に迷惑をかけそうで不安である
- 5 「認知症」に対応した介護が受けられるかどうか不安である
- 6 「認知症」になっても、自宅で生活を続けられるか不安である
- 7 「認知症」になっても、自分の財産などを管理できるか不安である
- 8 「認知症」のことについて、あまりよく知らない(正しく理解できていない)
- 9 その他()
- 10 特に不安はない

問20 認知症の取組として、北九州市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療につなげる体制づくり
- 2 医師や介護サービス事業者などの専門性の向上
- 3 認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 4 認知症の人の在宅での生活を支える取組
- 5 認知症グループホーム(認知症の人が共同生活を営みながら介護を受ける入居施設)の整備
- 6 認知症への正しい理解を広める取組
- 7 介護する家族同士の交流など、家族の精神的な負担を軽減する取組
- 8 その他()

【虐待・権利擁護】

問21 虐待や財産をねらった詐欺など高齢者の権利を侵害するものに対する不安がありますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 不安はない | 2 どちらかといえば不安は感じない |
| 3 どちらかといえば不安を感じる | 4 不安がある |
| 5 どちらともいえない | 6 その他 |

問24 「地域包括支援センター」を利用したことがありますか。その時の目的は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 介護保険の申請やサービス利用に関する相談
- 2 介護予防や健康づくりに関する相談
- 3 市が行っている介護保険以外の福祉サービスに関する相談
- 4 権利擁護や虐待に関する相談
- 5 その他()
- 6 利用したことはない

副問1へ

副問1 【問24で 1、2、3、4、5 と答えた方のみにおたずねします】

利用した際の職員の対応に満足しましたか。

いずれか一つに○。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 どちらでもない

【介護保険制度について】

問25 介護が必要な人を家族だけで支えるのではなく、社会全体で支えることを目指してつくられた介護保険制度について、どのようにお考えですか。

いずれか一つに○。

- 1 よいと思う
- 2 どちらかといえばよいと思う
- 3 どちらかといえばよくないと思う
- 4 よくないと思う
- 5 わからない

【保健・福祉サービスの利用意向】

問26 介護が必要な状態になったとき、どこで生活することを希望されますか。

いずれか一つに○。

- 1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活したい⇒**副問1**へ
- 2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活したい⇒**副問2**
- 3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設で生活したい⇒**副問2**
- 4 わからない
- 5 その他()

副問1 【問26「1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活したい」と答えた方のみにおたずねします】

介護が必要な状態になったとき、自宅で暮らし続けるためには、どういったことが**最も必要**だと思いますか。

いずれか一つに○。

- 1 家族の協力
- 2 地域における助け合い
- 3 入浴や食事などの介助を行うヘルパーや、デイサービスなどの介護サービス
- 4 NPO・ボランティアなどが行う生活援助サービス(見守り、買い物、家事援助、配食など)
- 5 医師による往診や緊急時に入院できるなどの医療体制が整っていること
- 6 自宅の改修や改築(段差の解消、手すりの設置など)
- 7 その他()

副問2 【問26で「2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活したい」「3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設で生活したい」と答えた方のみにおたずねします】その理由は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 介護に協力できる家族がいないから
- 2 家族はいるが仕事などのため介護に協力できそうにないから
- 3 家族に迷惑をかけたくないから
- 4 専門的な介護が受けられ、安心できるから
- 5 その他()

【負担に対する考え方】

問27 高齢化の進展に伴い、介護保険サービスにかかる費用が増大し、介護保険料も上昇していくことが見込まれています。このような状況をふまえ、保険料と介護保険サービスとの関係について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。

いずれか一つに○。

- 1 保険料の負担が増えても、もっとサービスを充実してほしい
- 2 真に必要なサービスに重点を置くなどして、できるだけ保険料の上昇を抑えるべきである
- 3 サービスを減らしてでも、保険料を下げるべきである
- 4 わからない

【生活環境について】

問28 現在お住まいの住宅について、どのような問題を感じていますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 住宅の構造(段差・階段)や設備(便所・浴室)が高齢者には使いにくい
- 2 防犯設備や防災設備が不十分である
- 3 家賃、税金、住宅維持費などの経済的負担が重い
- 4 その他()
- 5 何も問題は感じていない

問29 外出や移動のときに最も困っていることは何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 駅や道路などに段差や階段が多く不便である
- 2 駅や路上の案内表示などが分かりにくく迷うことがある
- 3 公共交通機関が近くになく、不便である
- 4 その他()
- 5 特に困っていることはない

問30 外出する際に最も多く使用する移動手段は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 自分もしくは、同居家族が運転する自動車
- 2 別居の家族や知人が運転する自動車
- 3 JR、バスなどの公共交通機関
- 4 タクシー
- 5 徒歩、自転車
- 6 その他()

【暮らし向き】

問31 現在の暮らし向きは、どうですか。

いずれか一つに○。

- 1 家計にゆとりがあり、まったく心配せずに暮らしている
- 2 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配せずに暮らしている
- 3 家計にゆとりがなく、多少心配である
- 4 家計が苦しく、非常に心配である
- 5 その他()

問32 保健・医療・福祉関係のサービス(医療費、介護サービス費等)に対して支払っている、おおよその金額(月額)はどのくらいですか。

いずれか一つに○。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 1万円未満 | 2 1万円以上3万円未満 |
| 3 3万円以上5万円未満 | 4 5万円以上10万円未満 |
| 5 10万円以上 | 6 その他 |

【「高齢者」について】

問33 あなたは、一般的に何歳頃から「高齢者」だと思いますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|--------------|---------|
| 1 60歳以上 | 2 65歳以上 |
| 3 70歳以上 | 4 75歳以上 |
| 5 80歳以上 | 6 85歳以上 |
| 7 年齢では判断できない | 8 わからない |

【高齢者福祉に対する施策】

問34 福祉に関する相談窓口がどこにあれば、気軽に立ち寄れますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 市役所・区役所
- 2 市民センター
- 3 駅ビルの中など、通勤途中に立ち寄れる交通の便が良い場所
- 4 勤務先
- 5 子育て関連施設
- 6 介護関連施設
- 7 その他()

問35 今後、さらに高齢化が進んでいく中で、北九州市はどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 健康づくりや介護予防に関連した事業の充実
- 2 高齢者の生きがいづくりや仲間づくりの支援・社会参加の促進
- 3 高齢者の就業や起業、NPO活動などへの支援の充実
- 4 認知症高齢者対策の充実
- 5 財産管理や成年後見などの権利擁護の充実
- 6 虐待を防止する制度や取組の充実
- 7 介護に関する相談窓口や相談体制の整備
- 8 在宅介護のためのヘルパーやショートステイなどのサービスの充実
- 9 特別養護老人ホームや認知症グループホームなどの介護施設の整備
- 10 高齢者に配慮した優良賃貸住宅などの住宅整備の促進
- 11 在宅で介護する家族に対する支援の充実
- 12 利用者が介護サービスを適切に選択することができる情報の提供
- 13 病院や診療所などの医療機関の充実
- 14 その他()

ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、平成28年11月25日(金)までに投函してください。

各位

北九州市保健福祉局長 工藤 一成

北九州市高齢者等実態調査への協力について(お願い)

日ごろから北九州市の保健福祉行政にご理解をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、北九州市では、高齢者等の保健福祉に関する意識やニーズを把握するため、
標記の調査を実施することといたしました。この調査は、高齢者をはじめとした市民の
皆様が、住み慣れた地域や家庭で安心して暮らしていけるよう、今後の高齢者福祉施策
の推進に役立てるためのものです。

つきましては、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理
解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

- * 4ページ以降の調査項目に直接ご記入後、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに
平成28年11月25日(金)までにご返送いただきますよう、お願い申し上げます。
- * 調査の対象となられた方は、平成28年9月1日現在、北九州市内にお住まいで介
護保険の要支援・要介護認定を受けておられる65歳以上の方から、無作為に抽出さ
せていただきました。
- * お答えいただいた内容につきましては、調査結果の統計の目的以外に使用すること
は一切ございません。
- * 調査対象者ご本人に聞き取りの上、ご家族の方等がご記入いただいても構いません。

◇同封の書類 ・調査票（在宅高齢者用） 1部
・返信用封筒 1枚

《この調査に関するお問合せ先》

株式会社北九州経済研究所

〒802-0084 北九州市小倉北区香春口二丁目8番8号 電話番号：932-6577

北九州市保健福祉局長寿社会対策課（高齢者等実態調査担当）

〒803-8501 北九州市小倉北区内1番1号 電話番号：582-2407

北九州市高齢者等実態調査

《平成28年10月調査》

在宅高齢者用

*この調査票は、65歳以上(平成28年9月1日現在)の方を対象としています。

*調査票の記入にあたって

- ①記入にあたっては、黒または青インクのペンまたはボールペンを使用してください。
- ②各設問の当てはまる番号に、○をつけてください。

以下の内容については、調査対象者ご本人(要支援・要介護の高齢者)がお答えください。なお、ご記入は、ご家族の方等でもかまいません。

*最初に、調査対象者ご本人(要支援・要介護の高齢者)のことについて、おたずねします。

【基本属性】

問1 あなたの性別はどちらですか。

いずれか一つに○。

1 男

2 女

問2 あなたの年齢はどちらにあたりますか。

いずれか一つに○。

1 65～69歳

2 70歳～74歳

3 75～79歳

4 80歳～84歳

5 85～89歳

6 90歳～94歳

7 95～99歳

8 100歳以上

問3 あなたのお住まいの区はどちらですか。

いずれか一つに○。

1 門司区

2 小倉北区

3 小倉南区

4 若松区

5 八幡東区

6 八幡西区

7 戸畑区

問4 あなたの要介護度等はどちらにあたりますか。

いずれか一つに○。

1 要支援1

2 要支援2

3 要介護1

4 要介護2

5 要介護3

6 要介護4

7 要介護5

問5 あなたは現在、どなたと一緒に暮らしていますか。養子の方も含めてお答えください。

あてはまるものすべてに○。

1 配偶者(あるいはパートナー)

2 親(配偶者の親を含む。)

3 子(子の配偶者を含む。)

4 孫(孫の配偶者を含む。)

5 その他(親族以外も含む。)

6 同居者はいない

問6 現在お住まいの住居の種類はどちらに該当しますか。

また、次の選択肢のうち、3と答えた場合は、市営住宅などの公営住宅か民間の住宅かについてもお答えください。

※持ち家は家族名義分も含みます。

いずれか一つに○。

1 一戸建て(借家)

2 一戸建て(持ち家)

3 アパート、マンション等の共同住宅(借家) →

いずれか一つに○。

 { 1 市営住宅などの公営住宅

2 民間の住宅

4 アパート、マンション等の共同住宅(持ち家)

5 その他()

【健康・医療】

問7 「かかりつけ医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

1 決めている

2 決めていない⇒**副問1**

副問1 【問7で「2 決めていない」と答えた方のみにおたずねします】

「かかりつけ医」がない理由は何ですか。

いずれか一つに○。

1 「かかりつけ医」になってくれそうな医師がないから

2 「かかりつけ医」の意味や制度を知らないから

3 複数の診療科を持つ医療機関にかかっているので必要ないから

4 病状以外のことを医師(他人)に知られたくないから

5 必要と思わないから

6 その他()

問8 「かかりつけ歯科医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

1 決めている⇒**副問1**へ

2 決めていない

☆「かかりつけ歯科医」とは☆

普段から、歯科治療や歯科健診、予防処置、歯みがき指導等を受けたり、歯や口の健康について気軽に相談したりできる歯医者さんのことです。

副問1 【問8で「1 決めている」と答えた方のみにおたずねします】

どんなときに「かかりつけ歯科医」を利用しますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 むし歯や歯周病、入れ歯等の治療を受けるとき
- 2 歯石除去や歯のクリーニングを受けるとき
- 3 定期的なチェックや健診を受けるとき
- 4 お口の働き(食べ物を噛む、飲み込む等)について相談するとき
- 5 訪問による歯科診療(往診)を受けるとき
- 6 その他()

問9 仮に、あなたが末期がんや進行性の疾患など治る見込みがない病気と診断され、余命6か月(もしくはそれより短い期間)と告げられたとした場合、どこで治療することを希望されますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 最期まで自宅で療養したい
- 2 できるだけ自宅で過ごして、最期は医療機関に入院したい
- 3 なるべく早く医療機関に入院したい
- 4 老人ホームなど介護施設で療養したい
- 5 その他()

副問1へ

副問1 【問9で「2、3、4」と答えた方のみにおたずねします】

「自宅」以外を選択した理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 自宅では家族に介護の負担がかかると思うから
- 2 自宅では必要な医療や介護が受けられないから
- 3 自宅で最期を迎えることができるという想像ができない(イメージがわからない)から
- 4 自宅で療養すると、費用がかかると思うから
- 5 病院等の専門機関で治療を受けたいから
- 6 その他()

【介護予防】

問10 健康づくりや、介護が必要な状態が悪化しないために、日ごろから取り組んでいることはありますか。

いずれか一つに○。

1 ある ⇒ **副問1**へ

2 特にない ⇒ **副問2**へ

副問1 【問10で「1 ある」と答えた方のみにおたずねします】

健康づくりや、介護が必要な状態が悪化しないために、日ごろから取り組んでいることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1 休養や睡眠を十分にとる | 2 規則正しい生活を送る |
| 3 栄養バランスの取れた食事をとる | 4 定期的に健康診断を受ける |
| 5 酒やたばこを控える | 6 散歩や体操など定期的な運動を続ける |
| 7 口や歯の手入れをこまめに行う | 8 よく噛んで食べる |
| 9 できるだけ外出をする | 10 気持ちをなるべく明るくもつ |
| 11 ボランティアなどの社会活動に積極的に参加する | |
| 12 その他() | |

副問2 【問10で「2 特にない」と答えた方のみにおたずねします】

それはなぜですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 興味・関心がない | 2 体力や気力がない |
| 3 どのようなことに取り組んでよいかわからない | 4 時間的な余裕がない |
| 5 金銭的な余裕がない | |
| 6 その他() | |

【生きがい・社会参加】

問11 現在、興味・関心があること、あるいは今後取り組んでみたいことはどのようなものですか。

あてはまるものすべてに○。

- | |
|-------------------------------|
| 1 新たな資格や技術を身につけること |
| 2 地域活動やボランティア活動等を通して社会貢献をすること |
| 3 スポーツや体操、運動などをすること |
| 4 芸術・文化活動などをすること |
| 5 その他() |
| 6 特に興味・関心のあることはない |

問12 現在、市内では多くの高齢者が、様々な活動の担い手として活躍されています。
今後ますます高齢化が進む中、社会貢献についてどのように考えますか。

いずれか一つに○。

- 1 積極的に社会貢献したい
- 2 自分のできる範囲で社会貢献したい
- 3 高齢者に負担をもとめるべきではない
- 4 わからない
- 5 その他()

【地域との関わり・支援の状況】

問13 介護や病気などで困ったときに、相談できる人はどんな方ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 家族や友人・知人
- 2 ケアマネジャーなどの介護関係者やかかりつけ医などの医療関係者
- 3 区役所や地域包括支援センターなどの行政関係者
- 4 民生委員・児童委員や福祉協力員などの地域の役員
- 5 その他()
- 6 相談できる人はいない

問14 ふだん、近所で親しく付き合っている人はいますか。

いずれか一つに○。

- 1 何か困ったときに助け合える親しい人がいる
- 2 お互い訪問し合う程度の人がある
- 3 立ち話をする程度の人がある
- 4 あいさつをかわす程度の人がある
- 5 ほとんど付き合いはない
- 6 その他()

【認知症】

問15 「認知症」と聞いて、不安に感じることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 「もの忘れ」と「認知症」の違いがわからない
- 2 どこに相談に行ったらよいかわからない
- 3 どのような生活を心がけていけば、予防できるのかわからない
- 4 家族に迷惑をかけそうで不安である
- 5 「認知症」に対応した介護が受けられるかどうか不安である
- 6 「認知症」になっても、自宅で生活を続けられるか不安である
- 7 「認知症」になっても、自分の財産などを管理できるか不安である
- 8 「認知症」のことについて、あまりよく知らない(正しく理解できていない)
- 9 その他()
- 10 特に不安はない

問16 認知症の取組として、北九州市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療につなげる体制づくり
- 2 医師や介護サービス事業者などの専門性の向上
- 3 認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 4 認知症の人の在宅での生活を支える取組
- 5 認知症グループホーム(認知症の人が共同生活を営みながら介護を受ける入居施設)の整備
- 6 認知症への正しい理解を広める取組
- 7 介護する家族同士の交流など、家族の精神的な負担を軽減する取組
- 8 その他()

【虐待・権利擁護】

問17 虐待や財産をねらった詐欺など高齢者の権利を侵害するものに対する不安がありますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 不安はない | 2 どちらかといえば不安は感じない |
| 3 どちらかといえば不安を感じる | 4 不安がある |
| 5 どちらともいえない | 6 その他 |

問18 認知症などにより判断能力が衰え、悪質商法による訪問販売や、振り込め詐欺などの被害にあう場合があります。このように財産管理などに不安が生じた場合、どのようにしようと思えますか。

いずれか一つに○。

- 1 自分の財産なのであくまでも自分で管理をする
- 2 子や他の親族に財産管理をゆだねる
- 3 弁護士や専門機関などの第三者に財産管理をゆだねる
- 4 わからない
- 5 その他()

【地域包括支援センターについて】

問19 「地域包括支援センター」を知っていますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

「地域包括支援センター」とは

地域包括支援センターは 高齢者のための保健・医療・福祉・介護に関する「総合相談窓口」です。高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう、高齢者の幅広い相談に応じます。北九州市では、平成18年4月から区役所や出張所に設置しています。また、平成27年10月から市民センターにおける巡回相談「高齢者いきいき相談」も行っています。

保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー(主任介護支援専門員)といった専門員が介護に関する相談に応じるほか、介護に関する支援、高齢者の権利擁護・虐待防止に関する取組、地域全体を包括的に支援していくためのネットワーク拠点としての活動を行っています。

平日の夜間や休日などの緊急時は、電話による相談対応も行っています。

※この調査票の質問では「地域包括支援センター」と表記しています。

問20 「地域包括支援センター」を利用したことがありますか。その時の目的は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 介護保険の申請やサービス利用に関する相談
- 2 介護予防や健康づくりに関する相談
- 3 市が行っている介護保険以外の福祉サービスに関する相談
- 4 権利擁護や虐待に関する相談
- 5 その他()
- 6 利用したことはない

副問1へ

副問1 【問20で 1、2、3、4、5 と答えた方のみにおたずねします】

利用した際の職員の対応に満足しましたか。

いずれか一つに○。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 どちらでもない

【介護保険制度について】

問21 介護保険の要介護認定の申請を行った理由は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 介護保険のサービスを利用するため
- 2 今すぐにサービスは必要ないが、いざというときに備えて
- 3 その他()

問22 現在、介護保険のサービスを利用していますか。

いずれか一つに○。

- 1 利用している⇒副問1・2へ
- 2 利用していない⇒副問3へ

副問1 【問22で「1 利用している」と答えた方のみにおたずねします】

ご利用された介護保険サービスの内容に満足していますか。

いずれか一つに○。

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 どちらかといえば満足していない⇒副々問1へ
- 4 満足していない⇒副々問1へ
- 5 どちらでもない

副々問1 【問22の副問1で「3 どちらかといえば満足していない」「4 満足していない」と答えた方のみにおたずねします】
どのようなところが不満ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 サービス事業者の手際が悪い、技術が劣っている
- 2 職員の態度が悪い
- 3 サービスに対する苦情や要望などを十分に聞いてもらえない
- 4 プライバシーが守られていない
- 5 これまで利用していたサービスが利用できなくなった
- 6 もっと利用したいのにサービスの量を増やせない
- 7 その他()

副問2 【問22で「1 利用している」と答えた方のみにおたずねします】
この1年間で介護保険サービスの利用回数に変化がありましたか。

いずれか一つに○。

- 1 利用回数が増えた
- 2 利用回数は変わらない
- 3 利用回数が減った⇒**副々問1**へ
- 4 わからない

副々問1 【問22の**副問2**で「3 利用回数が減った」と答えた方のみにお尋ねします】サービスの回数が減った理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 家族が介護するようになった
- 2 要介護度が改善した、身体状況が改善した
- 3 ケアマネジャー等のアドバイスにより変更した
- 4 サービスの質や事業者の対応が満足いくものでなかった
- 5 利用料の負担が大きいため、利用をやめた
- 6 その他()

副問3 【問22で「2 利用していない」と答えた方のみにおたずねします】

介護保険のサービスを利用していない理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 介護サービスがなくても自分で生活できるから
- 2 病院などに入院しているから
- 3 家族の介護や介護保険以外のサービスで間に合うから
- 4 利用料を支払うことが困難だから
- 5 手続き方法などが分からないから
- 6 その他()

問23 介護が必要な人を家族だけで支えるのではなく、社会全体で支えることを目指してつくられた介護保険制度について、どのようにお考えですか。

いずれか一つに○。

- 1 よいと思う
- 2 どちらかといえばよいと思う
- 3 どちらかといえばよくないと思う
- 4 よくないと思う
- 5 わからない

【保健・福祉サービスの利用意向】

問24 現在よりも、さらに介護が必要な状態になったとき、どこで生活することを希望されますか。

いずれか一つに○。

- 1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活したい⇒**副問1**へ
- 2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活したい⇒**副問2**へ
- 3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設で生活したい⇒**副問2**へ
- 4 わからない
- 5 その他()

副問1 【問24で「1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活したい」と答えた方のみにおたずねします】
介護が必要な状態になったとき、自宅で暮らし続けるためには、どういったことが**最も必要**だと思いますか。

いずれか一つに○。

- 1 家族の協力
- 2 地域における助け合い
- 3 入浴や食事などの介助を行うヘルパーや、デイサービスなどの介護サービス
- 4 NPO・ボランティアなどが行う生活援助サービス(見守り、買い物、家事援助、配食など)
- 5 医師による往診や緊急時に入院できるなどの医療体制が整っていること
- 6 自宅の改修や改築(段差の解消、手すりの設置など)
- 7 その他()

副問2 【問24で「2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活したい」「3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設で生活したい」と答えた方のみにおたずねします】その理由は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 介護に協力できる家族がいないから
- 2 家族はいるが仕事などのため介護に協力できそうにないから
- 3 家族に迷惑をかけたくないから
- 4 専門的な介護が受けられ、安心できるから
- 5 その他()

問25 施設への入所申し込みを検討されていますか。

いずれか一つに○。

- 1 すでに申し込みしている ⇒副問1へ
- 2 検討している ⇒副問1へ
- 3 検討していない

副問1 【問25で「1 すでに申し込みしている」「2 検討している」と答えた方のみにおたずねします】入所申込みをしている理由は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 施設で生活したいから
- 2 在宅生活が不自由だから
- 3 家族の心身の負担が軽くなるから
- 4 家族の経済的な負担が軽くなるから
- 5 今は入所しなくても良いが、いざというときに入所できないと困るから
- 6 その他()

【負担に対する考え方】

問26 高齢化の進展に伴い、介護保険サービスにかかる費用が増大し、介護保険料も上昇していくことが見込まれています。このような状況をふまえ、保険料と介護保険サービスとの関係について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。

いずれか一つに○。

- 1 保険料の負担が増えても、もっとサービスを充実してほしい
- 2 真に必要なサービスに重点を置くなどして、できるだけ保険料の上昇を抑えるべきである
- 3 サービスを減らしてでも、保険料を下げるべきである
- 4 わからない

問27 介護保険サービスを利用する場合の利用料(自己負担)について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。

いずれか一つに○。

- 1 充実したサービスを受けるため、利用料が増えてもやむを得ない
- 2 サービスを受けるため、負担能力に応じた利用料の負担はやむを得ない
- 3 サービスは少なくともよいから、利用料は出来るだけ少ない方がよい
- 4 わからない

【生活環境について】

問28 現在お住まいの住宅について、どのような問題を感じていますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 住宅の構造(段差・階段)や設備(便所・浴室)が高齢者には使いにくい
- 2 防犯設備や防災設備が不十分である
- 3 家賃、税金、住宅維持費などの経済的負担が重い
- 4 その他()
- 5 何も問題は感じていない

問29 外出や移動のときに最も困っていることは何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 駅や道路などに段差や階段が多く不便である
- 2 駅や路上の案内表示などが分かりにくく迷うことがある
- 3 公共交通機関が近くになく、不便である
- 4 その他()
- 5 特に困っていることはない

問30 外出する際に最も多く使用する移動手段は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 自分もしくは、同居家族が運転する自動車
- 2 別居の家族や知人が運転する自動車
- 3 JR、バスなどの公共交通機関
- 4 タクシー
- 5 徒歩、自転車
- 6 その他()

【暮らし向き】

問31 現在の暮らし向きは、どうですか。

いずれか一つに○。

- 1 家計にゆとりがあり、まったく心配せずに暮らしている
- 2 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配せずに暮らしている
- 3 家計にゆとりがなく、多少心配である
- 4 家計が苦しく、非常に心配である
- 5 その他()

問32 保健・医療・福祉関係(医療費・介護サービス費等)のサービスに対して支払っている、おおよその金額(月額)はどのくらいですか。

いずれか一つに○。

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | 1万円未満 | 2 | 1万円以上3万円未満 |
| 3 | 3万円以上5万円未満 | 4 | 5万円以上10万円未満 |
| 5 | 10万円以上 | 6 | その他() |

【「高齢者」について】

問33 あなたは、一般的に何歳頃から「高齢者」だと思いますか。

いずれか一つに○。

- | | | | |
|---|------------|---|-------|
| 1 | 60歳以上 | 2 | 65歳以上 |
| 3 | 70歳以上 | 4 | 75歳以上 |
| 5 | 80歳以上 | 6 | 85歳以上 |
| 7 | 年齢では判断できない | 8 | わからない |

【高齢者福祉に対する施策】

問34 今後、さらに高齢化が進んでいく中で、北九州市はどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 健康づくりや介護予防に関連した事業の充実
- 2 高齢者の生きがいづくりや仲間づくりの支援・社会参加の促進
- 3 認知症高齢者対策の充実
- 4 財産管理や成年後見などの権利擁護の充実
- 5 虐待を防止する制度や取組の充実
- 6 高齢者の就業や起業、NPO活動などへの支援の充実
- 7 介護に関する相談窓口や相談体制の整備
- 8 在宅介護のためのヘルパーやショートステイなどのサービスの充実
- 9 特別養護老人ホームや認知症グループホームなどの介護施設の整備
- 10 高齢者に配慮した優良賃貸住宅などの住宅整備の促進
- 11 在宅で介護する家族に対する支援の充実
- 12 利用者が介護サービスを適切に選択することができる情報の提供
- 13 病院や診療所などの医療機関の充実
- 14 その他()

ご協力ありがとうございました。

調査対象者ご本人（要支援・要介護の高齢者）への

質問は以上で終わりです。

次ページ以降の質問については、
調査対象者ご本人を介護しているご家族の方が
お答えください。

なお、介護をしている方がいない場合は、回答不要です。

【主な介護者について】

問35 介護されている高齢者(以下、「要介護者」)からみた、主に介護をしている人(以下「主な介護者」という。)の続柄は、どれにあたりますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 夫 | 2 妻 |
| 3 子 | 4 子の配偶者 |
| 5 孫 | 6 兄弟・姉妹 |
| 7 その他の親族() | 8 親族以外の者 |

問36 主な介護者の性別はどちらですか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

問37 主な介護者の年齢は、どれにあたりますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|----------|----------|
| 1 20歳未満 | 2 20～29歳 |
| 3 30～39歳 | 4 40～49歳 |
| 5 50～59歳 | 6 60～69歳 |
| 7 70～79歳 | 8 80歳以上 |

問38 主な介護者は、要介護者と同居していますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 同居している | 2 同居していない |
|----------|-----------|

問39 主な介護者は現在、子育てをしていますか。

あてはまるものすべてに○。

- | |
|-----------------|
| 1 未就学児の子育てをしている |
| 2 小学生の子育てをしている |
| 3 中高生の子育てをしている |
| 4 子育てはしていない |
| 5 その他() |

問40 主な介護者の現在の勤務形態はどれにあたりますか。

いずれか一つに○。

- 1 フルタイムで働いている⇒副問1・副問2・副問3へ
- 2 パートタイムで働いている⇒副問1・副問2・副問3へ
- 3 働いていない⇒副問4へ
- 4 わからない

副問1 【問40で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」と答えた方のみにおたずねします】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 特に行っていない
- 2 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら働いている
- 3 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
- 4 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている

副問2 【問40で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」と答えた方のみにおたずねします】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3 制度を利用しやすい職場づくり
- 4 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 5 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 6 介護をしている従業員への経済的な支援
- 7 その他()
- 8 特にない
- 9 わからない

副問3 【問40で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」と答えた方のみにおたずねします】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

いずれか一つに○。

- 1 問題なく、続けていける
- 2 問題はあるが、何とか続けていける
- 3 続けていくのは、やや難しい
- 4 続けていくのは、かなり難しい
- 5 わからない

副問4 【問40で「3 働いていない」と答えた方のみにおたずねします】

今後、仕事をしたいと思えますか。

いずれか一つに○。

- 1 正規雇用で働きたい
- 2 非正規雇用(契約社員・派遣社員、パート・アルバイト等)で働きたい
- 3 正規雇用を希望しているが、当面は非正規雇用で働きたい
- 4 仕事をしたいとは思わない
- 5 その他()

【介護の状況】

問41 主な介護者がこれまで介護をしてきた期間は、どのくらいですか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 1年未満 | 2 1年～3年未満 |
| 3 3年～5年未満 | 4 5年～10年未満 |
| 5 10年以上 | |

問42 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 日中の排泄 | 2 夜間の排泄 |
| 3 食事の介助(食べる時) | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症状への対応 |
| 11 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 12 食事の準備(調理等) | 13 その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- 15 その他()
- 16 不安に感じていることは、特にない

○「経管栄養」とは

食事が口から取れなくなったときに、鼻または腹部の皮膚から直接、胃にチューブを入れ栄養補給を行う方法です。

○「ストーマ」とは

手術によっておなかに造られた便や尿の排泄の出口のことを言います。
人工肛門、人工膀胱を総称し「ストーマ」と言います。

問43 主な介護者が現在介護をするうえで困っていることはありますか。

いずれか一つに○。

1 ある⇒**副問1**へ

2 ない

副問1【問43で「1 ある」と答えた方におたずねします】

困っていることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 精神的な負担感がある(将来に不安を感じる、相談相手がいない等)
- 2 身体的な負担感がある(疲労が蓄積している、睡眠不足等)
- 3 経済的な負担感がある(家計を圧迫している、貯金を切り崩している等)
- 4 介護を手伝ってくれる身近な存在がいない
- 5 利用できる社会資源がわからない
- 6 仕事や子育て等と介護の両立が困難である
- 7 その他()

問44 主な介護者が、介護のことで困ったときに相談する相手は、どんな方ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 家族や友人・知人
- 2 ケアマネジャーなどの介護関係者やかかりつけ医などの医療関係者
- 3 区役所や地域包括支援センターなどの行政関係者
- 4 民生委員・児童委員や福祉協力員などの地域の役員
- 5 勤務先
- 6 その他()
- 7 相談できる人はいない

問45 今後の介護のあり方について、どのような希望を持っていますか。

いずれか一つに○。

- 1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活させたい
- 2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活させたい⇒**副問1**へ
- 3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい⇒**副問1**へ
- 4 わからない
- 5 その他()

副問1 【問45で「2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活させたい」「3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい」と答えた方のみにおたずねします】入所させたい理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 介護に疲れたから
- 2 在宅サービスの利用だけでは介護できないから
- 3 本人の意向だから
- 4 経済的な負担が少なくなるから
- 5 その他()

問46 主な介護者が、介護をすることが困難な時、どのように対処されていますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 ショートステイやデイサービスなどの介護保険のサービスを利用している
- 2 他の家族に一時的にみてもらっている
- 3 近所の人や友人に一時的にみてもらっている
- 4 自分が無理をしても介護をしている
- 5 その他()

問47 主な介護者が感じている介護の負担感はどの程度ですか。

いずれか一つに○。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 かなり負担である | 2 やや負担である |
| 3 それほど負担ではない | 4 負担ではない |

問48 主な介護者が普段の生活で、要介護者の認知症に関して不安を感じることはありますか。

いずれか一つに○。

- 1 全く不安はない
- 2 将来的なこととして不安を感じることもあるが、現在は不安を感じない
- 3 日常生活に支障はないが、もの忘れが多くなったなど、多少不安を感じることもある
- 4 医師の診断は受けていないが、認知症ではないかと思われる症状があり、生活に何らかの支障がでている⇒**副問1**へ
- 5 医師から認知症であるとの診断を受けている⇒**副問1**へ

副問1 【問48で「4 医師の診断は受けていないが、認知症ではないかと思われる症状があり、生活に何らかの支障がでている」「5 医師から認知症であるとの診断を受けている」と答えた方のみにおたずねします】

認知症への取組として、北九州市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療につなげる体制づくり
- 2 医師や介護サービス事業者などの専門性の向上
- 3 認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 4 認知症の人の在宅での生活を支える取組
- 5 認知症グループホーム(認知症の人が共同生活を営みながら介護を受ける入居施設)の整備
- 6 認知症への正しい理解を広める取組
- 7 介護する家族同士の交流など、家族の精神的な負担を軽減する取組
- 8 その他()

【高齢者虐待について】

問49 主な介護者が、要介護者への虐待に至る危険性を感じたことはありますか。

いずれか一つに○。

- 1 すでに虐待にあたる行為をしているのではないかと思う
- 2 今後、介護が続けば、虐待などに至る危険性があると思う
- 3 虐待などに至る危険性はない
- 4 わからない
- 5 その他()

問50 高齢者への虐待は、どのようなことが要因で起こると思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 高齢者本人に認知症による徘徊、幻覚、妄想、不潔行為などの症状があるため
- 2 高齢者本人の身体的な介助に手間がかかるため
- 3 高齢者本人の性格や人格に問題があるため
- 4 介護者の介護疲れや精神的なストレスがあるため
- 5 介護者の家族や親族などの協力がなく、一人で抱え込んでしまっているため
- 6 介護者に認知症や介護に対する理解や知識が不足しているため
- 7 家庭内の人間関係に過去から問題があったため
- 8 介護者自身が経済的に自立しておらず、高齢者本人の収入で生計をたてているため
- 9 わからない
- 10 その他()

【高齢者福祉に対する施策】

問51 現在、介護のために介護者が仕事を辞めることや、介護と育児を同時に担うなど、介護者を取り巻く環境も変化しています。介護者の負担を軽くするために、どのような支援が必要だと思いませんか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 子育てや介護のために一定期間休める仕組み
- 2 出社・退社時間を自分の都合で変えられる柔軟な労働制度(フレックスタイム制)
- 3 テレワークや在宅勤務等の導入
- 4 保育施設等の整備
- 5 介護施設等の整備
- 6 子育て・介護に関する相談窓口の一本化
- 7 わからない
- 8 その他()

問52 福祉に関する相談窓口がどこにあれば、気軽に立ち寄れますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 市役所・区役所
- 2 市民センター
- 3 駅ビルの中など、通勤途中に立ち寄れる交通の便が良い場所
- 4 勤務先
- 5 子育て関連施設
- 6 介護関連施設
- 7 その他()

問53 今後、さらに高齢化が進んでいく中で、北九州市はどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 健康づくりや介護予防に関連した事業の充実
- 2 高齢者の生きがいづくりや仲間づくりの支援・社会参加の促進
- 3 高齢者の就業や起業、NPO活動などへの支援の充実
- 4 認知症高齢者対策の充実
- 5 財産管理や成年後見などの権利擁護の充実
- 6 虐待を防止する制度や取組の充実
- 7 介護に関する相談窓口や相談体制の整備
- 8 在宅介護のためのヘルパーやショートステイなどのサービスの充実
- 9 特別養護老人ホームや認知症グループホームなどの介護施設の整備
- 10 高齢者に配慮した優良賃貸住宅などの住宅整備の促進
- 11 在宅で介護する家族に対する支援の充実
- 12 利用者が介護サービスを適切に選択することができる情報の提供
- 13 病院や診療所などの医療機関の充実
- 14 その他()

ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
平成28年11月25日(金)までに投函してください。

各位

北九州市保健福祉局長 工藤 一成

北九州市高齢者等実態調査への協力について(お願い)

日ごろから北九州市の保健福祉行政にご理解をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、北九州市では、高齢者等の保健福祉に関する意識やニーズを把握するため、
標記の調査を実施することといたしました。この調査は、市民の皆様が、住み慣れた地
域や家庭で安心して暮らしていけるよう、今後の高齢者福祉施策の推進に役立てるため
のものです。

つきましては、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理
解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

- * **5ページ以降の調査項目に直接ご記入後、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに平成28年11月25日(金)までにご返送いただきますよう、お願い申し上げます。**
- * 調査の対象となられた方は、平成28年9月1日現在、北九州市内にお住まいの40歳～64歳の方から、無作為に抽出させていただきました。
- * お答えいただいた内容につきましては、調査結果の統計の目的以外に使用することは一切ございません。

- ◇同封の書類
- ・調査票（若年者用） 1部
 - ・返信用封筒 1枚

《この調査に関するお問合せ先》

株式会社北九州経済研究所

〒802-0084 北九州市小倉北区香春口二丁目8番8号 電話番号：932-6577

北九州市保健福祉局長寿社会対策課（高齢者等実態調査担当）

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 電話番号：582-2407

北九州市高齢者等実態調査

《平成28年10月調査》

若年者用

*この調査票は、40歳～64歳未満(平成28年9月1日現在)の方を対象としています。

* 調査票の記入にあたって

①記入にあたっては、黒または青インクのペンまたボールペンを使用してください。

②各設問の当てはまる番号に、○をつけてください。

あなた様ご自身について、以下の質問にご回答をお願いします。

【基本属性】

問1 あなたの性別はどちらですか。

いずれか一つに○。

1 男

2 女

問2 あなたの年齢はどちらにあたりますか。

いずれか一つに○。

1 40～44歳

2 45歳～49歳

3 50～54歳

4 55歳～59歳

5 60～64歳

問3 あなたのお住まいの区はどちらですか。

いずれか一つに○。

1 門司区

2 小倉北区

3 小倉南区

4 若松区

5 八幡東区

6 八幡西区

7 戸畑区

問4 あなたは現在、どなたと一緒に暮らしていますか。養子の方も含めてお答えください。

あてはまるものすべてに○。

1 配偶者(あるいはパートナー)

2 親(配偶者の親を含む。)

3 子(子の配偶者を含む。)

4 孫(孫の配偶者を含む。)

5 その他(親族以外も含む。)

6 同居者はいない

問5 現在お住まいの住居の種類はどちらに該当しますか。

また、次の選択肢のうち、3と答えた場合は、市営住宅などの公営住宅か民間の住宅かについてもお答えください。

※持ち家は家族名義分も含みます。

いずれか一つに○。

1 一戸建て(借家)

2 一戸建て(持ち家)

3 アパート、マンション等の共同住宅(借家)

いずれか一つに○。

1 市営住宅などの公営住宅

2 民間の住宅

4 アパート、マンション等の共同住宅(持ち家)

5 その他()

【健康・医療】

問6 あなたの健康状態は、いかがですか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 1 よい | 2 まあよい |
| 3 普通 | 4 あまりよくない⇒副問1へ |
| 5 よくない⇒副問1へ | |
| 6 現在は健康であるが、将来的な健康状態に不安を感じている | |

副問1 【問6で「4 あまりよくない」「5 よくない」と答えた方のみにおたずねします】どのような症状がありますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 生活習慣病などの慢性疾患や不調
- 2 腰痛や関節痛などの整形外科系の疾患や不調
- 3 うつや原因不明の心身の不調などの精神科系の疾患や不調
- 4 歯や歯ぐきなどの歯周疾患や不調
- 5 目の疾患や不調
- 6 耳の疾患や不調
- 7 その他()

問7 「かかりつけ医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|---------|---------------|
| 1 決めている | 2 決めていない⇒副問1へ |
|---------|---------------|

副問1 【問7で「2 決めていない」と答えた方のみにおたずねします】
「かかりつけ医」がない理由は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 「かかりつけ医」になってくれそうな医師がないから
- 2 「かかりつけ医」の意味や制度を知らないから
- 3 複数の診療科を持つ医療機関にかかっているので必要ないから
- 4 病状以外のことを医師(他人)に知られたくないから
- 5 必要と思わないから
- 6 その他()

問8 「かかりつけ歯科医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

1 決めている⇒**副問1**へ

2 決めていない

☆「かかりつけ歯科医」とは☆

普段から、歯科治療や歯科健診、予防処置、歯みがき指導等を受けたり、歯や口の健康について気軽に相談したりできる歯医者さんのことです。

副問1 【問8で「1 決めている」と答えた方のみにおたずねします】

どんなときに「かかりつけ歯科医」を利用しますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 むし歯や歯周病、入れ歯等の治療を受けるとき
- 2 歯石除去や歯のクリーニングを受けるとき
- 3 定期的なチェックや健診を受けるとき
- 4 お口の働き(食べ物を噛む、飲み込む等)について相談するとき
- 5 訪問による歯科診療(往診)を受けるとき
- 6 その他()

問9 仮に、あなたが末期がんや進行性の疾患など治る見込みがない病気と診断され、余命6か月(もしくはそれより短い期間)と告げられたとした場合、どこで治療することを希望されますか。

- 1 最期まで自宅で療養したい
- 2 できるだけ自宅で過ごして、最期は医療機関に入院したい
- 3 なるべく早く医療機関に入院したい
- 4 老人ホームなど介護施設で療養したい
- 5 その他()

} **副問1**へ

副問1 【問9で「2、3、4」と答えた方のみにおたずねします】

「自宅」以外を選択した理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 自宅では家族に介護の負担がかかると思うから
- 2 自宅では必要な医療や介護が受けられないから
- 3 自宅で最期を迎えることができるという想像ができない(イメージがわからない)から
- 4 自宅で療養すると、費用がかかると思うから
- 5 病院等の専門機関で治療を受けたいから
- 6 その他()

【介護予防】

問10 「介護予防」という言葉やその意味・意義を知っていますか。

いずれか一つに○。

- 1 意味や意義を理解している
- 2 意味を十分に理解しているわけではないが、「介護予防」という言葉を聞いたことはある
- 3 聞いたこともないし、意味も分からない

☆「介護予防」とは☆

いつまでもいきいきと自分らしい生活を送ることができるように、健康づくりや生活習慣の改善に取り組むことによって、介護が必要な状態になることを防いだり、もし介護が必要になっても状態がそれ以上悪化しないようにしていくことです。

問11 健康づくりや、介護が必要な状態になることを防ぐ(介護予防)ために、日ごろから取り組んでいることはありますか。

いずれか一つに○。

1 ある ⇒ **副問1**へ

2 特にない ⇒ **副問2**へ

副問1 【問11で「1 ある」と答えた方のみにおたずねします】

健康づくりや、介護が必要な状態になることを防ぐ(介護予防)ために、日ごろから取り組んでいることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1 休養や睡眠を十分にとる | 2 規則正しい生活を送る |
| 3 栄養バランスの取れた食事をとる | 4 定期的に健康診断をうける |
| 5 酒やたばこを控える | 6 散歩や体操など定期的な運動を続ける |
| 7 口や歯の手入れをこまめに行う | 8 よく噛んで食べる |
| 9 できるだけ外出をする | |
| 10 気持ちをなるべく明るくもつ | |
| 11 ボランティアなどの社会活動に積極的に参加する | |
| 12 その他() | |

副問2 【問11で「2 特にない」と答えた方のみにおたずねします】

それはなぜですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 興味・関心がない | 2 体力や気力がない |
| 3 どのようなことに取り組んでよいかわからない | 4 時間的な余裕がない |
| 5 金銭的な余裕がない | |
| 6 その他() | |

【生きがい・社会参加】

問12 あなたは、ご自身の老後に向けての準備(健康づくり、趣味、貯蓄など)を何歳から始めましたか。または、何歳から始めたらよいと思いますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 40歳未満 | 2 40歳～44歳 |
| 3 45歳～49歳 | 4 50歳～54歳 |
| 5 55歳～59歳 | 6 60歳～64歳 |
| 7 65歳以上 | |

問13 現在、市内では多くの高齢者が、様々な活動の担い手として活躍されています。今後ますます高齢化が進む中、あなたが高齢者になった時の社会貢献についてどのように考えますか。

いずれか一つに○。

- 1 積極的に社会貢献したい
- 2 自分のできる範囲で社会貢献したい
- 3 高齢者に負担をもとめるべきではない
- 4 わからない
- 5 その他()

【地域との関わりの状況】

問14 ふだん、近所のどなたかと親しく付き合っていますか。

いずれか一つに○。

- 1 何か困ったときにも助け合える親しい人がいる
- 2 お互い訪問し合う程度の人がある
- 3 立ち話をする程度の人がある
- 4 あいさつをかわす程度の人がある
- 5 ほとんど付き合いはない
- 6 その他()

問15 地域における支え合い(日頃の付き合いとともに、近隣の人々と協力しあったり支援しあったりすること)について、どのようにお考えですか。

いずれか一つに○。

- 1 地域における支え合いは必要であり、今後も充実させるべきだと思う
- 2 地域の支え合いで対応できない課題は、ボランティアやNPOを活用すべきだと思う
- 3 地域の支え合いに頼らずに、公的な福祉サービスで対応すべきだと思う
- 4 その他()

【認知症】

問16 「認知症」と聞いて、不安に感じることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 「もの忘れ」と「認知症」の違いがわからない
- 2 どこに相談に行ったらよいかわからない
- 3 どのような生活を心がけていけば、予防できるかわからない
- 4 家族に迷惑をかけそうで不安である
- 5 「認知症」に対応した介護が受けられるかどうか不安である
- 6 「認知症」になっても、自宅で生活を続けられるか不安である
- 7 「認知症」になっても、自分の財産などを管理できるか不安である
- 8 「認知症」のことについて、あまりよく知らない(正しく理解できていない)
- 9 その他
- 10 特に不安はない

問17 あなたご自身が老後に認知症になるかもしれないと、不安に思うことがありますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|---------|----------|
| 1 よくある | 2 時々ある |
| 3 あまりない | 4 まったくない |
| 5 わからない | 6 その他() |

問18 あなたご自身ではなく、あなたのご家族が老後に認知症になるかもしれない、と不安に思うことがありますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|---------|----------|
| 1 よくある | 2 時々ある |
| 3 あまりない | 4 まったくない |
| 5 わからない | 6 その他() |

問19 仮にあなたご自身が、認知症になった場合、どのようなことに不安を感じると思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか
- 2 経済的に苦しくなるのではないか
- 3 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
- 4 家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
- 5 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
- 6 不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか
- 7 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか
- 8 その他()

問20 仮に、あなたのご家族が、認知症になった場合に、あなたはどのようなことに不安を感じると思いますか。また、現在、認知症のご家族がいる方はどんなことに不安を感じていますか

あてはまるものすべてに○。

- 1 身体的・精神的な負担が大きいのではないか
- 2 経済的に苦しくなるのではないか
- 3 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
- 4 自分(あなた)や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
- 5 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
- 6 不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか
- 7 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか
- 8 その他()

問21 認知症への取組として、北九州市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療につなげる体制づくり
- 2 医師や介護サービス事業者などの専門性の向上
- 3 認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 4 認知症の人の在宅での生活を支える取組
- 5 認知症グループホーム(認知症の人が共同生活を営みながら介護を受ける入居施設)の整備
- 6 認知症への正しい理解を広める取組
- 7 介護する家族同士の交流など、家族の精神的な負担を軽減する取組
- 8 その他()

【地域包括支援センターについて】

問22 「地域包括支援センター」を知っていますか。

いずれか一つに○。

1 はい

2 いいえ

「地域包括支援センター」とは

地域包括支援センターは高齢者のための保健・医療・福祉・介護に関する「総合相談窓口」です。高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう、高齢者の幅広い相談に応じます。北九州市では、平成18年4月から区役所や出張所に設置しています。また、平成27年10月から市民センターにおける巡回相談「高齢者いきいき相談」も行っています。

保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー(主任介護支援専門員)といった専門員が介護に関する相談に応じるほか、介護に関する支援、高齢者の権利擁護・虐待防止に関する取組、地域全体を包括的に支援していくためのネットワーク拠点としての活動を行っています。

平日の夜間や休日などの緊急時は、電話による相談対応も行っています。

※この調査票の質問では「地域包括支援センター」と表記しています。

問23 「地域包括支援センター」を利用したことがありますか。その時の目的は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | | |
|------------------------------|---|--------------|
| 1 介護保険の申請やサービス利用に関する相談 | } | 副問1 へ |
| 2 介護予防や健康づくりに関する相談 | | |
| 3 市が行っている介護保険以外の福祉サービスに関する相談 | | |
| 4 権利擁護や虐待に関する相談 | | |
| 5 その他() | | |
| 6 利用したことはない | | |

副問1 【問23で 1、2、3、4、5 と答えた方のみにおたずねします】

利用した際の職員の対応に満足しましたか。

いずれか一つに○。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 どちらでもない

【介護保険制度について】

問24 介護が必要な人を家族だけで支えるのではなく、社会全体で支えることを目指してつくられた介護保険制度について、どのようにお考えですか。

いずれか一つに○。

- 1 よいと思う
- 2 どちらかといえばよいと思う
- 3 どちらかといえばよくないと思う
- 4 よくないと思う
- 5 わからない

問25 あなたは、将来、ご自身が介護が必要になったとき、どこで生活することを希望されますか。

いずれか一つに○。

- 1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活したい
- 2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活したい
- 3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設で生活したい
- 4 わからない
- 5 その他()

問26 あなたが家族(親・夫・妻など)の介護を行うこととなったとき、どのような介護を希望しますか。

いずれか一つに○。

- 1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活させたい
- 2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活させたい
- 3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設で生活させたい
- 4 わからない
- 5 その他()

【暮らし向き】

問27 現在の暮らし向きは、どうですか。

いずれか一つに○。

- 1 家計にゆとりがあり、まったく心配せずに暮らしている
- 2 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配せずに暮らしている
- 3 家計にゆとりがなく、多少心配である
- 4 家計が苦しく、非常に心配である
- 5 その他()

【高齢者福祉に対する施策】

問28 現在、介護のために介護者が仕事を辞めることや、介護と育児を同時に担うなど、介護者を取り巻く環境も変化しています。介護者の負担を軽くするために、どのような支援が必要だと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 子育てや介護のために一定期間休める仕組み
- 2 入社・退社時間を自分の都合で変えられる柔軟な労働制度(フレックスタイム制)
- 3 テレワークや在宅勤務等の導入
- 4 保育施設等の整備
- 5 介護施設等の整備
- 6 子育て・介護に関する相談窓口の一本化
- 7 わからない
- 8 その他()

問29 福祉に関する相談窓口がどこにあれば、気軽に立ち寄れますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 市役所・区役所
- 2 市民センター
- 3 駅ビルの中など、通勤途中に立ち寄れる交通の便が良い場所
- 4 勤務先
- 5 子育て関連施設
- 6 介護関連施設
- 7 その他()

問30 今後、さらに高齢化が進んでいく中で、北九州市はどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 健康づくりや介護予防に関連した事業の充実
- 2 高齢者の生きがいづくりや仲間づくりの支援・社会参加の促進
- 3 高齢者の就業や起業、NPO活動などへの支援の充実
- 4 認知症高齢者対策の充実
- 5 財産管理や成年後見などの権利擁護の充実
- 6 虐待を防止する制度や取組の充実
- 7 介護に関する相談窓口や相談体制の整備
- 8 在宅介護のためのヘルパーやショートステイなどのサービスの充実
- 9 特別養護老人ホームや認知症グループホームなどの介護施設の整備
- 10 高齢者に配慮した優良賃貸住宅などの住宅整備の促進
- 11 在宅で介護する家族に対する支援の充実
- 12 利用者が介護サービスを適切に選択することができる情報の提供
- 13 病院や診療所などの医療機関の充実
- 14 その他()

ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

平成28年11月25日(金)までに投函してください。

北九州市高齢者等実態調査

《平成28年10月調査》

施設入所高齢者用

※ 対象の方が、何らかの事情により調査できない場合には、下の番号のいずれかに○をつけてください。⇒ 調査可能な場合は、記入の必要はありません。

- | | |
|---------|-----------------|
| 1 入院・転所 | 5 本人の意思の確認ができない |
| 2 退院 | 6 その他 |
| 3 死亡 | (具体的に) |
| 4 拒否 | |

以下の内容については、調査対象者ご本人に対して質問し、答えを記入してください。

【基本属性】

問1 あなたの性別はどれにあたりますか。

いずれか一つに○。

1 男

2 女

問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。

いずれか一つに○。

1 65～69歳

5 85～89歳

2 70～74歳

6 90～94歳

3 75～79歳

7 95～99歳

4 80～84歳

8 100歳以上

問3 あなたの要介護度はどれにあたりますか。

いずれか一つに○。

1 要介護1

2 要介護2

3 要介護3

4 要介護4

5 要介護5

【施設サービスの利用状況】

問4 施設に入所された理由は何ですか。

いずれか一つに○。

1 介護する家族がないから

2 家族の心身の負担が軽くなるから

3 経済的に負担が軽くなるから

4 在宅サービスだけでは生活ができなくなったから

5 他の施設や医療機関では、生活できなくなったから

6 自宅に戻るためのリハビリや療養を行うため

7 その他()

問5 現在の施設に入所されている期間はどのくらいですか。

いずれか一つに○。

1 3か月未満

5 2年～3年未満

2 3か月～6か月未満

6 3年～5年未満

3 6か月～1年未満

7 5年以上

4 1年～2年未満

問6 あなたが施設で生活するなかで楽しみにしていることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 入浴 | 6 趣味活動(絵画、書道、手芸など) |
| 2 食事 | 7 家族や友人、地元団体等の訪問 |
| 3 テレビやラジオ | 8 他の利用者や施設職員との会話 |
| 4 読書 | 9 その他() |
| 5 季節の行事や催し、
レクリエーション活動 | 10 特になし |

問7 あなたが施設で生活するなかで改善してほしいと思う点は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 入浴
- 2 食事
- 3 季節の行事や催し、レクリエーション活動
- 4 居室の設備、広さ
- 5 職員の介護技術や待遇等
- 6 その他()
- 7 特になし

問8 在宅での生活に戻ることについて、どのようにお考えですか。

いずれか一つに○。

- 1 在宅での生活に支障がない身体の状態になれば戻りたい
- 2 在宅での生活に戻りたいが、介護してくれる人がいないので難しい
- 3 在宅での生活に戻りたいが、戻りたくても戻るところがない
- 4 在宅での生活に戻りたいが、経済的理由により難しい
- 5 施設での生活に満足しており、戻りたくない
- 6 わからない
- 7 その他()

問9 あなたの家族や親族などで、面会にくる人がいますか。

いずれか一つに○。

1 いる ⇒副問1・2・3へ

2 いない

副問1 【問9で「いる」と答えた方のみにおたずねします】

もっとも頻繁に面会に来るのは、どのような方ですか。

いずれか一つに○。

1 配偶者(あるいはパートナー)

2 子(子の配偶者を含む。)

3 孫(孫の配偶者を含む。)

4 その他の親族

5 友人、知人

6 その他()

副問2 【問9で「いる」と答えた方のみにおたずねします】

副問1で○をつけた方がお住まいになっている所はどこですか。

いずれか一つに○。

1 施設の所在地と同じ区内

4 県外等その他の地域()

2 北九州市内

5 わからない

3 県内(下関市を含む。)

副問3 【問9「いる」と答えた方のみにおたずねします】

副問1で○をつけた方は、どのくらいの間隔で面会に来られていますか。

いずれか一つに○。

1 ほぼ毎日

5 2～3か月に1回

2 週に2～3回

6 半年～1年に1回程度

3 週1回程度

7 その他()

4 月1回程度

【暮らし向き】

問10 現在の暮らし向きは、どうですか。

いずれか一つに○。

- 1 家計にゆとりがあり、まったく心配せずに暮らしている
- 2 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配せずに暮らしている
- 3 家計にゆとりがなく、多少心配である
- 4 家計が苦しく、非常に心配である
- 5 わからない
- 6 その他()

【施設での生活全体の印象】

問11 施設での生活全体について、どのように感じておられますか。

いずれか一つに○。

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば満足していない
- 5 満足していない

ご協力ありがとうございました。

貴施設の調査対象者の方々の調査票を
まとめて同封の返信用封筒に入れ、
平成28年11月25日(金)までに投函してください。

※切手は不要です。